北海道遺産
Hokkaido Heritage

北海道遺産だより

NPO法人北海道遺産協議会
北海道遺産情報紙 Vol.31
2025（令和7）年11月1日 発行

報告１ ― 2025（令和７）年度通常総会を開催しました





６月23日（月）、北農健保会館特別会議室にて2025（令和７）年度通常総会を開催いたしました。

今年度は会場参加とWeb参加を併用したハイブリッド方式にて開催し、会場参加23名、Web参加16名の合計39名の皆様にご出席いただきました。

はじめに、2024（令和６）年度の事業報告・収支決算について報告を行い、2025（令和７）年度事業計画（案）、収支予算（案）、特別会計の設置、より実働的な体制を整備するため、部会の設置および定款変更についてご審議いただき、ご承認をいただきました。

審議事項の他に、事務局から2024（令和６）年度の「ほっかいどう遺産WAON」と「お茶で北海道を美しく。」キャンペーンの助成活動についてご報告させていただきました。

ご出席の皆様からは上記審議事項に対するご質問・ご意見をいただいたほか、近況報告や今後の活動について発表いただきました。

2025（令和７）年度事業は下記の通りです。

■2025（令和７）年度事業計画■

＜2025（令和７）年度のポイント＞

～担い手の地域活動への支援強化
～「北海道遺産」の広域プロモーションの強化
～社会連携の強化
～協議会のプラットフォーム機能の強化、会員・支援者のインセンティブの向上

（１）一般会計部門

◆ 保全活用推進事業
「お茶で北海道を美しくキャンペーン」寄付金による各地域への助成

◆ 地域活動促進支援事業
「ほっかいどう遺産WAON」寄付金による各地域への助成
- ● 一般枠事業
- ● 縄文遺産活動支援枠事業
- ● 広域先導モデル枠事業

◆ 法人運営

（２）特別会計部門

◆ 普及啓発活動事業
- ● プロモーション基盤整備事業
- ● 企業等の提案による「パートナーシップ事業」の試行
  - ①連携事業
    - a.北海道ヘリテージウィーク
    - b.全道的なプロモーション媒体の制作・活用
  - ②協賛・応援事業

◆ 地域活動促進支援事業
- ● 部会運営
  - ①企画部会
  - ②事業推進部会
  - ③助成事業等審議部会

報告2 「ほっかいどう遺産ＷＡＯＮ」助成活動団体が決まりました！

この度も、多くのご応募ありがとうございました。厳正な審査の結果、助成金活動団体として下記の33団体の皆様に決定いたしました。活動の様子はSNS等で随時お知らせします。

団体名	活動の名称	遺産名
天塩川シーニックバイウェイ	天塩川と歴史文化の伝承～天塩川×武四郎～	天塩川、松浦武四郎による蝦夷地踏査の足跡
PMF修了生コンサート実行委員会	パシフィック・ミュージック・フェスティバル修了生コンサートin利尻島	利尻島の漁業遺産群と生活文化
一般社団法人ワールズ・ミート・ジャパン	マインクラフト × 文化体験：デジタルでつなぐ歴史と未来	函館西部地区の街並み
道南ブロック会議運営事務局	北海道遺産「道南ブロック会議」事業	しかべ間歇泉
認定NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム	小学校教諭との協働による縄文遺産群を対象とした教育旅行の実践と普及拡大	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群
北の縄文道民会議	「世界遺産登録５周年へ・縄文雪まつり2026」の開催	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群、オホーツク沿岸の古代遺跡群
一般財団法人道南歴史文化振興財団	縄文エコミュゼの形成に向けた基盤づくり事業	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群
伊達洞爺湖ミュージアム地域振興プラットフォーム	海からの視線で体験する世界文化遺産縄文遺跡の映像製作	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群
縄文ＤＯＨＮＡＮプロジェクト	『茅空』発見５０年記念！ 縄文魅力発信プロジェクト	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群
一般社団法人石狩シェアハピシティ計画	北海道遺産「サケの文化」次世代伝承プロジェクト	サケの文化
炭鉄港推進協議会	炭鉄港マイクラ事業	空知の炭鉱関連施設と生活文化、小樽みなとと防波堤、小樽の鉄道遺産、北海道の集治監、江別のれんが
北海道中央バス株式会社	北海道遺産協議会登録の遺産を訪ねるツアー《なかなか訪れることの少ない地域の貴重な遺産に出会うツアー》	サケの文化、稚内港北防波堤ドーム、利尻島の漁業遺産群と生活文化、上ノ国の中世の館、北海道の集治監、しもかわの循環型森林文化、森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」、オホーツク沿岸の古代遺跡群
一般社団法人ステイびばい	ほっかいどう遺産「空知の炭鉱関連施設と生活文化」の魅力発信・認知度向上事業	空知の炭鉱関連施設と生活文化
下川町	復活！下川町産割箸を通じた北海道遺産「しもかわの循環型森林文化」普及啓発事業	しもかわの循環型森林文化
仙台藩白老元陣屋活用地域活性化推進協議会	仙台藩白老元陣屋活用地域活性化推進事業	仙台藩白老元陣屋
雨竜町・雨竜町観光協会	令和７年度ラムサール条約湿地登録２０周年事業	雨竜沼湿原
一般社団法人江差歴史文化再生機構	江差追分担い手事業	江差追分
NPO法人北海道鉄道文化保存会	鉄道記念物「しづか号」生誕140年、鉄道記念物「大勝号」生誕130年を祝う会	小樽の鉄道遺産
江差町	開陽丸記念館休館中の出張展示モデル製作	五稜郭と箱館戦争の遺構
全日本下の句歌留多協会	北海道遺産「下の句かるた」次世代育成事業	下の句かるた
鹿部町	オリジナルグッズを活用したしかべ間歇泉普及啓発事業	しかべ間歇泉
中川町観光協会	①第11回天塩川de水切り北海道大会 ②天塩川春発信inなかがわ	天塩川
石狩川下覧櫂	石狩川下覧櫂川下り・水遊び	石狩川
足寄ふるさとラワンぶきまつり実行委員会	足寄ふるさとラワンぶきまつり2025	螺湾ブキ
標茶町	北海道集治監釧路分監魅力向上事業	北海道の集治監
特定非営利活動法人増毛山道の会	増毛山道の歴史や遺産の広報・ツアー・維持管理活動	増毛山道と濃昼山道
北広島市	史跡旧島松駅逓所リニューアルオープンに係る北海道米のルーツ「赤毛米」の魅力発信事業	北海道米のルーツ「赤毛米」
野付半島自然環境保全協会	野付半島から見る国後島展望デッキ整備	野付半島と打瀬舟
利尻しまじゅうエコミュージアム	大学生による「利尻島の漁業遺産群と生活文化」体験交流事業	利尻島の漁業遺産群と生活文化
登別市	登別地獄谷遊歩道修繕	登別温泉地獄谷
昭和新山国際雪合戦大会実行委員会	雪合戦審判競技力向上講習・審判交流派遣事業	昭和新山国際雪合戦大会
札幌村郷土記念館保存会	大友亀太郎・ウイリアム P. ブルックス・永山武四郎につながる物語　巡回写真展	大友亀太郎の事績と大友堀遺構、開拓使時代の洋風建築
一般社団法人音更町十勝川温泉観光協会	北海道遺産「モール温泉」PRパンフレット作成	モール温泉

報告3 「お茶で北海道を美しく。」キャンペーン助成活動団体が決まりました!

2025（令和7）年度も、多方面にわたるご応募をいただきました。その中から下記の３団体の助成活動に決定いたしました。活動の様子はSNS等で随時お知らせします。

団体名	活動の名称	遺産名
新ひだか町	静内二十間道路桜並木への桜の植樹活動	静内二十間道路の桜並木
特定非営利活動法人 霧多布湿原ナショナルトラスト	霧多布湿原における野鳥保全活動 1．霧多布湿原・琵琶瀬川におけるアカアシシギ利用状況調査手法の検討 2．霧多布湿原における天然記念物指定鳥類の観察会	霧多布湿原
三笠ジオパーク推進協議会	野外博物館階段補修	空知の炭鉱関連施設と生活文化

報告4 北海道ヘリテージウィーク2025を開催しました

北海道遺産の魅力を発信する機会として例年実施している「北海道ヘリテージウィーク」を、今年は10月11日～19日までの約１週間の会期で実施し、PRイベントや贈呈式など様々な事業を展開しました。

10月10日（金）＜前夜祭＞北海道遺産と食・ワインを楽しむ夕べ

ウィークを盛り上げる企画として、エア・ウォーターの森を会場に前夜祭を開催しました。先人たちが遺した北海道遺産の物語と“食”とのつながりを再発見することを目的に、「HOKKAIDO お酒教養學」とコラボレーションして実施。北海道のお酒をアカデミックかつ楽しく学べるプログラムとして、講演や提供品にも北海道遺産にまつわる品々を取り入れました。“食”を通じて北海道遺産の魅力をより身近に感じ、多くの参加者が新たな発見や交流を楽しむ時間となりました。



10月11日（土） 日本遺産×北海道遺産PRイベントin旭川

イオンモール旭川西にて開催された「日本遺産＆北海道遺産 PRイベント in 旭川」に出展し、北海道遺産の魅力を広く発信しました。会場では北海道遺産のパネル展示やパンフレットの配布、クイズ企画などを実施。多くのお客様にお立ち寄りいただき、北海道遺産について知っていただく貴重な機会となりました。



10月13日（月・祝）「ほっかいどう遺産WAON」寄付目録・感謝状贈呈式

「ほっかいどう遺産WAON」の利用額の一部として、2023（令和５）年度は1,769万3,239円、2024（令和６）年度は1,737万8,818円のご寄付をいただいたことに対し、赤れんが庁舎にて令和５・６年度「ほっかいどう遺産WAON」寄付目録・感謝状贈呈式を執り行いました。贈呈式にはイオン北海道株式会社 青柳英樹社長、小寺博之営業本部長、北海道鈴木直道知事にご列席いただき、青柳社長より小玉会長へ寄付目録が手渡され、鈴木知事から青柳社長へ感謝状が贈られました。



10月18日（土） 北海道遺産フェス in 赤れんが

リニューアルオープンした赤れんが庁舎を会場に「北海道遺産フェス in 赤れんが」を開催しました。当日は道内各地の担い手の皆さんが一堂に集まり、各遺産ブースやPRステージを通じて多くの来場者に遺産の魅力を発信。パンフレットの配布やワークショップなども行われ、来場者が直接遺産の魅力に触れる機会となりました。後半のトークイベント「ヘリテージ×観光」では、登壇者それぞれの視点から文化財としての赤れんが庁舎の魅力や、今後の保全活用、観光への活かし方について意見が交わされ、観覧席が足りなくなるほどの盛況となりました。







お知らせ ― 北海道遺産を巡って応募しよう！

各地の北海道遺産を巡る「北海道遺産デジタルスタンプラリー 2025-2026」を実施中です。複数のスタンプを集めて応募すると、抽選でプレゼントが当たります。また、昨年度から短歌部門を加えた「北海道遺産フォト＆短歌チャレンジ2025-2026」も同時開催中です。素敵な作品のご応募お待ちしています！

北海道遺産デジタルスタンプラリー 2025-2026

▼参加方法

【実施期間】
2025（令和７）年８月１日（金）～2026（令和８）年３月10日（火）

【対象スポット】
北海道遺産に関連する88のスポット

【参加方法】
①「北海道遺産デジタルスタンプラリー」ページ右上の「ログイン」ボタンより、新規ユーザー登録を行う（ページのセッションが切れるとスタンプ獲得履歴が消えてしまうため、必ずユーザー登録を行ってください）。
④「参加する」ボタンをタップ後にスポットを選択し、「位置情報を使用してスタンプを押す」をタップ。スポットから500m以内の範囲でスタンプを取得することができます。

【プレゼント】
スタンプの取得数に応じて以下の抽選に応募可能。
○A賞（スタンプ15個以上）　**3名様**
　ほっかいどう遺産WAONカード（１万円チャージ済）
○B賞（スタンプ10個以上）　**10名様**
　北海道遺産地域の産品
○C賞（スタンプ３個以上）　**50名様**
　北海道遺産グッズあれこれ

●右記QRコードからスタンプラリーに参加できます。
各スポットの情報も掲載しています。
北海道遺産　スタンプラリー

北海道遺産フォト＆短歌チャレンジ2025-2026

▼募集要項

【募集期間】
2025（令和７）年10月28日（火）～2026（令和８）年２月28日（土）

【募集作品】
○**フォト部門**　74件の北海道遺産の中から題材を選び、過去５年以内に撮影した写真作品
○**短歌部門**　74件の北海道遺産の中から題材を選び、制作した短歌作品

【賞】
○**グランプリ（各部門１名）**
　「ほっかいどう遺産WAONカード（３万円チャージ済み）
○**準グランプリ（各部門２名）**
　「ほっかいどう遺産WAONカード（１万円チャージ済み）
○**入　選（各部門15名）　北海道遺産グッズ**

【応募資格】
北海道遺産を訪れた全ての人（国籍、年齢不問）

【応募点数】
お一人あたり各部門10点まで

【応募方法】
「北海道遺産フォト＆短歌チャレンジ2025-2026」
専用フォームよりご応募ください。

●詳細は右記QRコード、または下記の北海道遺産公式SNSアカウントよりご覧ください。
@hokkaido_heritage　@hokkaidoisan

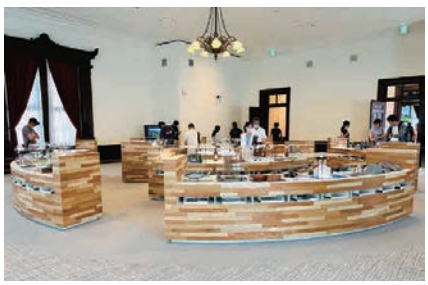
事務局だより

事務局から ― 赤れんが庁舎に北海道遺産を紹介する展示室が設置されました

北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）は、５年余りに及ぶ大規模な改修工事を終え、2025（令和７）年７月25日にリニューアルオープンしました。

新しくなった赤れんが庁舎の２階「歴史と文化のフロア」には北海道各地の遺産を紹介する展示室が設けられ、北海道遺産をはじめとする北海道独自の歴史文化に関する展示を楽しんだり、情報を得ることができるようになりました。お近くへお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

＊入館料や営業時間、イベント情報など、詳しくは北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）公式ウェブサイト（https://www.hokkaido-redbrick.jp/）をご覧ください。



２階「歴史と文化のフロア」展示室
北海道の遺産・文化

NPO法人 北海道遺産協議会
〒060-0041　北海道札幌市中央区大通東２丁目３番地１ 第36桂和ビル７階
（札幌市営交通地下鉄東西線バスセンター前駅・５番出口直結）
TEL：011-218-2858　FAX：011-232-4918　E-mail：info@hokkaidoisan.org

北海道遺産
公式ホームページ